

研修証明書



氏名 _____ 生年月日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

上記の者は本学会主催の大会で学校教育相談に関する下記の内容について研修が修了したことを証明いたします。

令和6年8月4日(日)

一般社団法人 日本学校教育相談学会
会長 春日井 敏之



研修会名 日本学校教育相談学会第36回総会・研究大会(愛知大会)

会場 刈谷市総合文化センター

期日 令和6年8月3日(土)～8月4日(日)

内容

8月3日(土)

*参加した研修に○印

| 文部科学省講演 | 時間 | 参加 |
|---|----|----|
| 題目:改めて問う 学校現場で求められている学校教育相談とは 講師:仲村健二 氏(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長) | 30 | |
| 記念講演 | 時間 | 参加 |
| 題目:教室はなぜ「対面」か? 一学校だからできる、これからの学習指導・やる気支援のためにー 講師:中谷泰之 氏(名古屋大学大学院教育発達研究科教授) | 50 | |

1 実践事例・研究発表

| No | 発表主題・題目 | 発表者 | 座長 | 時間 | 参加 |
|----|---|------------------------------|-------|----|----|
| 1 | 特別支援学級におけるアタッチメントの課題を抱える児童への支援 | 青木武史 片桐悠佳 | 松尾茂 | 60 | |
| 2 | 自傷行為を行うA子の自己肯定感を高めた取組 ースクールカウンセラーのチーム学校へのかかわりを通してー | 小林勉 | 久林直美 | 60 | |
| 3 | 高校生における摂食障害傾向と対人関係との関連 | 平松香織 | 古田多佳子 | 60 | |
| 4 | MLA協同学習指導の指導における要点 ー共起ネットワークによる自由記述の分析ー | 栗原慎二 中林浩子 沖林洋平 | 長坂正文 | 60 | |
| 5 | 不登校から教室復帰へのアプローチ ー校内別室を利用した支援のあり方ー | 黒崎紀子 | 吉田七重 | 60 | |
| 6 | ASDの中学生 3年間の記録 ー不登校を経て「自分らしさ」を見つけるまでー | 春日一美 | 下山京美 | 60 | |
| 7 | 生徒の友人関係及び校内の人間関係がいじめの疑いと学級適応感に与える影響 ーコロナ禍前に実施された「中学生の生活・意識・行動に関するアンケート」分析ー | 日野陽平 中村豊 | 牧野昌子 | 60 | |
| 8 | 担任とスクールカウンセラーの協働における効果と留意点の検討 ーテキストマイニングを用いたインタビュー分析からー | 浅野浩子 | 吉田元彦 | 60 | |
| 9 | 高ストレス下でも適応感をもって生きる姿勢を育成するために ー高校生のハーディネスとソーシャルサポートに注目してー | 加藤亜紗実 | 細溝典彦 | 60 | |
| 10 | 教員の協働性を高め、「チーム学校」を構築するためのアプローチ ーピア・サポート・プログラム導入に向けた自主教員研修を通してー | 上野良 | 村上慎一 | 60 | |
| 11 | 特別な指導を必要とする生徒に対するチーム支援システムの構築 ー実態と課題を共有する会議を通じた連携協働促進と支援シート開発の試みー | 内藤育美 | 松尾茂 | 60 | |
| 12 | 教師視点の中1の課題に対応したピア・サポート・プログラムの実践 | 工藤吉猛 | 久林直美 | 60 | |
| 13 | 粘り強く取り組む力の育成に関する研究 ーGrit(やり抜く力)に着目してー | 上田美徳 | 吉田元彦 | 60 | |
| 14 | 組織的な生徒理解と教員間の相互理解を促すケース会議の在り方 ー県立高校への訪問型支援の実践事例を通してー | 磯貝大輔 | 細溝典彦 | 60 | |
| 15 | 課題を抱える児童生徒への支援について ーSELの理論を参考にー | 森本晃介 井上晴香 坪井美咲 西垣伸悟 | 長坂正文 | 60 | |
| 16 | 安心感を高める指導 | 島田宗明 | 古田多佳子 | 60 | |
| 17 | 効果的なチーム支援のためのアセスメント会議 | 米田成 | 牧野昌子 | 60 | |
| 18 | キャリアコンサルタントが高校で活躍できるように補充すべきスキルについて | 松下真治 | 立松容子 | 60 | |
| 19 | 多様性を認め合うことができる生徒の育成 | 中沼 晁 | 吉田七重 | 60 | |
| 20 | 他者と協働することができる生徒の育成 | 若山裕也 | 清水貴子 | 60 | |

2 学会本部企画シンポジウム

| No | テーマ・メンバー | 時間 | 参加 |
|----|---|-----|----|
| ☆ | 学校教育相談 ―今までとこれからを考える― 企画者:春日井敏之 司会者:中林浩子 話題提供者:梅川康治 春日井敏之 栗原慎二 藤原忠雄 | 120 | |

3 自主シンポジウム

| No | テーマ・メンバー | 時間 | 参加 |
|----|---|-----|----|
| 1 | 不登校・不登校児童生徒に対する医療と学校との連携の在り方 ―起立性調節障害との関係を考える― 企画者:原田浩司 司会者:松本直美 話題提供者:八木正樹 吉沢幸子 月井順一 指定討論者:原田浩司(筑波技術大学) | 120 | |
| 2 | 学校の教育相談体制の充実をめざして ―教育相談コーディネーターの役割、教員に求められる教育相談の力― 企画者:金子恵美子 司会者:小笠原淳 話題提供者:住谷孝明 松井美雪 和久田耕平 指定討論者:西山久子(福岡教育大学) | 120 | |
| 3 | 学校教育相談の継承のためにIV ―有機的なコミュニティ・スクールの構築とは― 企画・司会者:岩瀧大樹 話題提供者:田口節 渡上井勇一 遠美咲 指定討論者:青木美穂子(群馬医療福祉大学) | 120 | |
| 4 | 学校で子どもたちの居場所をつくる 企画者:渡辺真由美 司会者:新田智子 話題提供者:原裕子 渡辺真由美 原田直美 指定討論者:山田修子(学校カウンセラー・スーパー・ハザード) | 120 | |

4 ポスター発表

| No | 発表主題・題目 | 発表者 | 時間 | 参加 |
|----|---------------------------------|----------------------|----|----|
| 1 | 子どもを対象とするメンタルヘルス教育プログラムの開発と実施 1 | 米田薫 和久田耕平 斉藤麻依 | 60 | |
| 2 | プレイセラピーの方法を用いた教育相談の実践 | 吉澤 寿一 | 60 | |

8月4日(日)

5 実践事例・研究発表

| No | 発表主題・題目 | 発表者 | 座長 | 時間 | 参加 |
|----|--|-------|-------|----|----|
| 21 | 養護教諭とスクールカウンセラーが連携・協働して進める教育相談 ―1年間の実践を通して効果と課題を考える― | 大西淳子 | 古田多佳子 | 60 | |
| 22 | 強みを発揮して行動することができる児童の育成 | 堀部裕太 | 久林直美 | 60 | |
| 23 | 総合的な探究の時間における取組 ―人間関係づくり活動を通じた学年集団の成長への試み― | 吉田さおり | 牧野昌子 | 60 | |
| 24 | 男子生徒の援助希求行動向上のために ―相談室運営と文学の授業の影響について事例を含め― | 原田まや子 | 村上慎一 | 60 | |
| 25 | 校内支援体制の充実を目指して ―教育相談部3年目の取組― | 高津麻井 | 立松容子 | 60 | |
| 26 | 「主体的・対話的で深い学び」の全教育課程へのアプローチ ―協同学習の教育的なしかけと開発的教育相談の活用― | 渡辺正雄 | 佐藤秋彦 | 60 | |
| 27 | 高等学校における通級による指導の実際 ―3年間の実践をとおして見えてきたもの― | 布台真子 | 久林直美 | 60 | |
| 28 | 生徒の個別最適な学びを支える「面談」という手法の 効果 ―教員と高校生の二者面談を通じた考察― | 安曇健太 | 牧野昌子 | 60 | |
| 29 | 心のゆとり感の効果 ―「心のゆとり感」と精神的健康度との関係― | 垣下成美 | 吉田元彦 | 60 | |

6 愛知県支部現地企画シンポジウム

| No | テーマ・メンバー | 時間 | 参加 |
|----|---|-----|----|
| ☆ | 不登校の近況と支援を考える ―生徒指導提言を踏まえて― 企画者:愛知県支部 司会者:長坂正文 話題提供者:吉田七重 松尾茂 山本祐子 石川健司 高橋昌久 指定討論者:五十嵐哲也(愛知教育大学) | 120 | |

7 自主シンポジウム

| No | テーマ・メンバー | 時間 | 参加 |
|----|--|-----|----|
| 5 | グループカウンセリングを活用した学級の仲間づくり(4) 企画者:伊澤孝・松本直美 司会者:伊澤孝 話題提供者:松本直美 黒須瞳 齋川由香 斎藤悠雅 指定討論者:会沢信彦(文教大学) | 120 | |
| 6 | チーム学校で取り組む教育相談体制の中でスクールカウンセラーはどう活用できるか? 企画・司会者:山崎茜 話題提供者:原範幸 米田成 山崎茜 指定討論者:中林浩子(下関市立大学) | 120 | |
| 7 | 生徒指導提言が改訂された今、学校現場にとって必要な学校教育相談とは② 企画・司会者:木村正男 話題提供者:金子恵美子 高田清美 藤坂雄一 木村正男 指定討論者:藤原忠雄(神戸親和大学) | 120 | |

8 学会賞記念講演

| No | 発表主題・題目 | 発表者 | 時間 | 参加 |
|----|---------------------|-----|----|----|
| ☆ | 子ども達の豊かな未来を拓く学校教育相談 | 米田薫 | 60 | |

この研修証明書は、『学校カウンセラー』認定申請の際の「120分程度の研修履歴」1回分として使用できます。

また、『学校カウンセラー』更新申請の際の「Ⅲ 教育相談研究歴(1)全国規模の研究大会への参加と、その研究会での研究発表等」の「A:2ポイント」として使用できます。なお、研究発表者、シンポジウム等の企画者・司会者・話題提供者・指定討論者、講演等の講師のポイント数は「更新申請手引き」で確認してください。